

平成27年度 キャリア教育の年間指導計画 第1学年

学校番号	61	学校名	鹿児島県立古仁屋高等学校
------	----	-----	--------------

月	学校行事	各教科・科目・特別活動等の進路実践	ストグレ(総合学習)
4	家庭訪問 学習オリエンテーション	○中学生から高校生への転換。服装容儀・遅刻欠席・あいさつといった生活面をしっかりと。また、学習の記録や各教科の課題をしっかりと提出する。 学習オリエンテーション：高校生としての授業の受け方、予習→授業→復習のサイクルが確立できるように高校の学習の仕方を学習する。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。	オリエンテーション
5	進路希望調査 朝課外スタート 古高会講座 第1回教育相談	進路希望調査：現段階での進路希望を記入する。進路室やインターネット等を活用し将来の進路を調べる。 朝課外スタート：高校生活のリズムを作り、遅刻・欠席がないようにする。 古高会講座：先輩の話を通し、自分の生き方について考える。 ○教育相談では学校生活について等、家庭訪問では相談できなかった様々なことを相談する。 ○高校生活初めての定期考査(中間考査)。今後の学習がスムーズに進むようしっかりと学習に取り組む。進路実現に関わってくる評定平均につながる。	自己理解 (生徒理解調査等の実施)
6	第1回英語検定	○6月より英語、電卓、漢字等の検定が続く。授業や課外にしっかりと取り組み進路につながるよう合格を目指す。 生徒理解検査：自己の特徴を捉え、進路研究に役立てる。 宅習時間調査：宅習時間調査を活用する。日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習時間等)を見直し、宅習量を増やす努力をする。	テーマ学習1 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
7	進路ガイダンス 夏季課外	進路ガイダンス：進学希望者は上級学校の説明を直接聞き、進路意識の高揚を図る。就職希望者は就職についての基本的な心構えと身につけておくべき事項を学ぶ。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○夏季課外を通して生活のリズムを保つようにする。夏季課題は早めに終わらせ、9月にある課題考査に備える。 夏季課外前期：基礎学力の定着が目標。遅刻・欠席がないように注意する。	テーマ学習2 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
8	漢字能力検定 港祭り 夏季課外	○夏季課外のない時期にオープンキャンパスに参加する。 ○夏季課外、夏休みの課題を通して基礎学力を充実させる。また、コース選択に向けて進路研究を行う。 夏季課外後期：基礎学力の定着が目標。遅刻・欠席がないように注意する。	
9	スタディサポート 学年PTS 進路講演会	○2学期の始まりに際し生活のリズムを整える。また、夏休みの提出物をしっかりと期限内に出す。 ○1学年PTSは主にコース選択について。生徒、保護者でよく話し合って自分の進路を考え、コースを決めるようにする。 進路講演会：外部講師の講演を聴くことで自分の進路について考える。	テーマ学習3 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
10	進路希望調査	進路希望調査：進路研究のきっかけとし、進路室やインターネット等を活用して調べる。その際、コース選択についてもよく考える。 ○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	テーマ学習4 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
11	集団読書 第2回教育相談 全商ビジュ文書検定	○第2回教育相談では、コース選択についてのことも担当の先生に相談する。 宅習時間調査：宅習時間調査を活用する。日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習時間等)を見直し、宅習量を増やす努力をする。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。	職業観の育成(企業訪問の準備と実施)
12	学年PTS 大学出前講座	○一年間を反省し、来年の進路目標を設定する。 ○生活のリズムを崩さない。生活のリズムを保ち、冬季課題は早めに終わらせ、1月にある課題考査に備える。また進路についても調べ、コース選択を決定する。 大学出前講座：興味・関心のある系統の講座を受講し、進路について考える。	課題研究1 (グループごとに課題を決め、調べ、発表する)
1	進研模試 英語検定	センター試験：大学・短大希望者は大学の入試制度について調べ、センター試験について知る。 ○模擬試験を通して目標と現状の差を認識し、弱点克服に努める。	課題研究2 (グループごとに課題を決め、調べ、発表する)
2	進路体験発表 漢字検定 進路ガイダンス	○学年末考査に向けてしっかりと学習に取り組む。評定平均につながる。 進路ガイダンス：進学希望者は各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は就職についての基本的な心構えと、身につけておくべき具体的事項を確認する。 進路体験発表：3年生の大学、専門学校、就職に合格した先輩の体験談を聞き、進路実現に向けての参考とし意識を高める。	課題研究3 (グループごとに課題を決め、調べ、発表する)
3	進路希望調査	進路希望調査：進路室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所について調べる。 ○2年次のコース選択に応じた準備をする。規則正しい生活を心がけ、学習時間をしっかりと確保する。苦手科目・分野の克服に努める。	人生設計を描く

平成27年度 キャリア教育の年間指導計画 第2学年

学校番号	61	学校名	鹿児島県立古仁屋高等学校
------	----	-----	--------------

月	学校行事	各教科・科目・特別活動等の進路実践	ストグレ(総合学習)
4	三者面談 学習カエーション	○1年次より学習内容が難しくなる。宅習時間を増やし、予習→授業→復習のサイクルを確立する。 ○コース制での授業が始まる。自分の進路目標に向けて授業や課題等にしっかり取り組む。	オリエンテーション
5	進路希望調査 朝課外スタート 第1回教育相談	進路適性検査：自己の適性・関心を知り、進路研究に役立つ。 朝課外スタート：基礎学力の定着・定着や、進路実現に向けての学力補充が目的。遅刻・欠席がないように生活のリズムを整える。 進路希望調査：進路研究を深めるために、進路室やインターネット等を活用して学校・事業所について具体的に調べる。 ○教育相談を活用して、学校生活(学習・進路・部活動等)や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。 ○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	職業観の育成 (就職の心構え・履歴書の記入)
6	英語検定 全商電卓検定	○6月～7月は資格・検定試験が集中する。合格を目指し意欲的に学習に取り組む。 宅習時間調査：宅習時間調査を活用する。日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習時間等)を見直し、宅習量を増やす努力をする。	職業観の育成 (実習先開拓・インターシッの準備)
7	進路ガイダンス 全商ビジュ初文書検定 夏季課外 職場体験学習	進路ガイダンス：進学希望者は各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は就職についての基本的な心構えと、身につけておくべき具体的事項を確認する。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○夏季課外を通して生活のリズムを保つようにする。夏季課題は早めに終わらせ、9月にある課題考査に備える。 夏季課外前期：1年と2年1学期の復習に努める。遅刻・欠席がないように注意する。 インターシッ：職場体験学習を通して働くことについて学び、自分の進路を考える。	職業観の育成 (インターシッの準備)
8	漢字能力検定 港祭り 夏季課外	○夏季課外のない時期にオープンキャンパスに参加する。 夏季課外後期：前期に引き続き遅刻・欠席がないように注意する。	
9	スタディサポート 全商情報処理 進路講演会	○9月～11月にかけて資格・検定試験が集中する。合格を目指し意欲的に学習に取り組む。 ○就職試験、専門学校推薦入試まであと1年。進路を具体的に考えなければならぬ。進路学習を深め、準備を始める。3年生の動向にしっかり目を向ける。 教育相談：担当の先生に進路について相談し、志望先の絞り込みを行う。進路講演会：外部講師の講演を聴き進路について考える。	修学旅行の調べ学習
10	古高会講座 進路希望調査	古高会講座：先輩の話を聴き、自分の生き方について考える。 進路希望調査：進路室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所について詳しく調べる。 ○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	文化祭準備 修学旅行の調べ学習
11	集団読書 第2回教育相談 全商ビジュ初文書検定 全商電卓検定	宅習時間調査：宅習時間調査を活用する。日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習時間等)を見直し、宅習量を増やす努力をする。 ○教育相談を活用して、学校生活(学習・進路・部活動等)や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	修学旅行の調べ学習
12	学年PTS 大学出前講座	○一年間を反省し、来年の進路目標を設定する。 ○生活のリズムを崩さない。生活のリズムを保ち、冬季課題は早めに終わらせ、1月にある課題考査に備える。 大学出前講座：興味・関心のある系統の講座を受講し、進路について考える。	修学旅行の調べ学習・事後のまとめ
1	進研模試 英語検定	○1月は資格・検定試験が集中する。合格を目指し意欲的に学習に取り組む。 センター試験：進学コースの生徒は来年度に向けて本年度の問題を解き今後の学習に生かす。 ○特に国公立大のAO・推薦入試希望者は3年1学期を目標に、漢検・英検の2級取得を目指す。	進路の自覚(進路研究)
2	進路体験発表 漢字検定 進路ガイダンス	進路ガイダンス：進学希望者は各学校の説明を直接聞き、希望分野や学費等について具体的に知る。就職希望の生徒は就職についての基本的な心構えと、身につけておくべき具体的事項を確認する。 進路体験発表：3年生の大学、専門学校、就職に合格した先輩の体験談を聞き、進路実現に向けての参考とし意識を高める。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。○志望校について受験方法や受験科目等を具体的に調べ、対策を始める。面接ノートを作成する。 ○今年度の求人票に目を通し、求人内容の確認や傾向を把握し試験に向けての準備を始める。 ○学年末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	進路の自覚(進路研究)
3	進路希望調査	進路希望調査：進路室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所について詳しく調べる。 就職ガイダンス：仕事についてのグループ学習や面接練習を通して就職活動や就労環境に関する知識を習得する。 ○苦手科目や苦手分野の克服に努める。○オープンキャンパスに参加する。	進路の自覚 (進路について考える)

平成27年度 キャリア教育の年間指導計画 第3学年

学校番号	61	学校名	鹿児島県立古仁屋高等学校
------	----	-----	--------------

月	学校行事	各教科・科目・特別活動等の進路実践	スットグレ(総合学習)
4	三者面談	家庭訪問：志望校や志望業種、受験日程や学費、年間の流れなど担任・生徒・保護者で具体的な話をする。	進路を考える (志望校・就職先についての研究)
5	進路希望調査 朝課外スタート 古高会講座 第1回教育相談	○部活動生は高校総体に向けて完全燃焼する。また、これまでの進路研究の結果や自分の学力、適性等を踏まえて、志望校や志望業種を絞る。 進路希望調査：志望校・志望業種について具体的に研究する。 朝課外スタート：進路実現に向けて基礎学力の定着が重要である。遅刻・欠席がないように朝課外に目標を持ってしっかりと取り組む。 第1回教育相談：志望校・志望業種について担任に相談する。進路実現に向けて努力目標を設定し、年間の流れや必要事項の確認をする。	進路を考える (願書・履歴書の作成方法)
6	学年PTS 進研マーク模試 進路マップ 放課後学習開始 第1回英語検定 全商電卓検定 放課後学習の開始	○部活動を引退する生徒が増える時期であり、本格的に進路実現に向けて気持ちを切り替える。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 宅習時間調査：宅習時間調査を活用し、日ごろの生活(就寝・起床・食事・学習の時間)を見直し、規則正しい生活に努め、宅習量を増やす。 3学年PTS：進路決定までの流れを確認する。間もなく求人受付が始まる時期であり、就職希望者は特に気を引き締める。国公立大のAO・推薦試験を希望する者は準備に取りかかる。 進路ガイダンス：就職希望者は進路ガイダンスを通して就職試験に向けた実践的な練習を行う。また、進学希望の生徒は、進路希望に近い学校・学部等の説明を聞き、学習へのモチベーションを高める。 放課後学習の開始：進学コースを中心とした生徒が参加し、進路実現に向けて放課後に自学自習を行なう。	進路を考える (志望理由書の作成)
7	全商ビジ初文書検定 進研記述模試 小論文模試 夏季課外 三者面談	求人受付開始：就職希望者は出来るだけ多くの求人票に目を通し、担任・保護者と話し合いを重ねて受験する企業を決定する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 夏季課外前期：教科の授業のほかにも、進路実現のため進路学習(面接練習、一般常識問題演習、履歴書・志望理由書の準備等)もある。 遅刻・欠席がないように注意する。(小論文模試) 島内企業見学：島内の企業、ハローワークを訪問し就職に対する意識を高める。 三者面談：進学・就職希望先の最終決定を行う。また、受験科目・日程、今後の課題等の確認を行う。	進路を考える (志望理由書の作成・面接の練習)
8	漢字能力検定 港祭り 夏季課外 推薦委員会	○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○夏季課外を利用し、センター試験に向けた基礎学力の充実をはかる。国公立大学の推薦入試希望者は小論文・面接対策を進める。また、就職、専門学校推薦入試希望者は出願、面接、小論文等の準備を行う。 ○夏季課外がないときに、オープンキャンパスや企業見学に参加する。 面接指導の開始：日ごろの言葉遣いや挨拶が大事。「面接必携」をしっかりと記入し、担当の先生と練習する。 推薦委員会の開始：第1回は就職希望者中心。第2回は専門学校希望者中心。面接や志望理由書等の提出が必要。学校への提出書類は期限を厳守する。 夏季課外後期：教科の授業のほかにも、進路学習(面接練習、一般常識問題演習、履歴書・志望理由書の作成等)も実施する。遅刻・欠席がないように注意する。	
9	全商情報処理 進路講演会 進研マーク模試 推薦委員会	○9月1日、就職期係応募書類発送。9月16日～就職試験開始。面接練習・筆記対策等に全力を注ぐ。 進路講演会：外部講師の講演を聴き、自分の進路についての意識を高める。 推薦委員会：大学・短期大学希望者中心。面接や志望理由書等の提出が必要。学校への提出書類は期限を厳守する。 ○就職希望者で内定通知が届いた者は、お礼状を作成・送付する。	進路を考える(面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)
10	進研記述模試 推薦委員会 内定者PTS	1人2社制スタート：10月より1人で複数企業の受験が可能となる。積極的に受験するようにする。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 専門学校推薦入試の出願：出願書類に不備がないか確認する。面接・作文・小論文・学科試験等の対策に全力を注ぐ。 センター試験出願：出願書類に不備がないか注意する。専門学校推薦入試の開始 内定者PTS①：進路決定者(生徒・保護者)が参加する。	進路を考える(面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)
11	進研マーク模試 集団読書 第2回教育相談 全商ビジ初文書検定 全商電卓検定	専門学校合格発表：提出書類、納入金等を確認し期限を厳守する。課題等の提出がある場合は、しっかりと取り組む。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○進路内定者は学級やコースの雰囲気づくりに気を配る。検定や期末考査が集中する時期でもあり、目標を切り替えて学習に励む。センター試験受験者は、授業・課外授業等を利用してマークテスト対策を行う。 大学推薦入試の開始	進路を考える(面接・小論文の練習、社会人としての心構えの養成)

	内定者PTS	内定者PTS②：進路決定者（生徒・保護者）が参加する。	
12	学年PTS 大学出前講座 冬休みセンター対策	3学年PTS：今後の日程、注意点等について確認する。 大学出前講座：大学・短大を受験する生徒は、希望に近い系統の講座を受講し、大学・短大の授業について学ぶ。 ○センター試験に向けての追い込み。過去問等で問題演習を重ねる。また、生活のリズム（寝る時間・起きる時間）を一定にして、体調管理に気を配る。 内定者PTS③：進路決定者（生徒・保護者）が参加する。 冬季課外：センター試験バック模試等を活用し、センター試験に向けての最終調整を行う。	進路を考える（面接・小論文の練習，社会人としての心構えの養成）
1	進研模試 英語検定 卒業考査 センター試験	○進路未決定者は焦りが出てくる時期だが、あきらめず最後まで努力する。 冬季課外：センター試験バック模試等を活用し、センター試験に向けての最終調整を行う。 ○センター試験利用私立大学受験者はセンター試験前出願が増えているので注意する。 センター試験：体調管理をしっかりと、全力を出し切る。 朝課外終了 出願決定のための三者面談：センター試験の自己採点を参考に、大学について詳細に調べ、担任や保護者と相談して出願校を決定し出願する。 卒業考査：最後の定期考査である。しっかりと復習して試験に臨む。	高校生活のまとめ（上級学校や職場への適応を高める）
2	進路体験発表 漢字検定 古高会講座	○自宅学習期間を有意義なものにする。進学先での学習に向けて学習習慣を身に付ける。入学手続き等も確実に行う。就職内定者は企業からの赴任通知を確認する。 ○進路未決定者は個別指導を受ける。最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒は、赴任日までに確実に取得する。 進路体験発表（3年合格者体験談）：1・2年生に向けて合格体験談を話す。 私立大学一般試験 私立大学一般試験合格発表 国公立大学前期試験	
3		○進路未決定者は個別指導を受ける。最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒は、赴任日までに確実に取得する。 国公立大学前期試験合格発表 国公立大学後期試験 国公立大学後期試験合格発表	